

ベーゼンドルファーで奏でるモーツァルト

講師 ピアニスト 久元祐子

“音楽の都”ウィーンで生まれた世界三大ピアノのひとつ、「ベーゼンドルファー」。「至福のピアノシモン」といわれる繊細で美しい響きを現代へ継承し、最新モデル 280VC では伝統をベースにより多彩な音色を実現。個性を磨き続け、新たなウィーンの音色を届けています。

本講座では、モーツァルト演奏の第一人者で日本唯一のベーゼンドルファー・アーティストでもあるピアニストの久元祐子氏が、10月27日に開かれる「モーツァルト・ソナタ全曲演奏会 vol.5」の事前講座として、モーツァルトのピアノ・ソナタを取り上げます。ベーゼンドルファーでの実演を交えて、モーツァルト・ソナタの聴きどころや作曲背景、また名器の魅力をピアニストの視点で探ります。

“ウィナーートーン(ウィーン風の音色)”で奏でるモーツァルトを、ぜひご堪能ください。

※会場はベーゼンドルファー東京ショールーム(東京・中野坂上)です。

<取り上げる予定の作品> ※解説のみの曲もございます。

- ・モーツァルト:ピアノ・ソナタ ヘ長調 KV280(189e)
- ・ハイドン:ソナタ ヘ長調 Hob.XVI:23
- ・モーツァルト:ピアノ・ソナタ 変ロ長調 KV570
- ・ハイドン:ピアノソナタ 変ホ長調 Hob.HVI:52
- ・モーツァルト:ピアノ・ソナタ 二長調 KV576

<使用楽器> ベーゼンドルファー社 コンサートグランドピアノ 280VC



<コンサート情報> 「久元祐子ピアノリサイタル モーツァルト・ソナタ全曲演奏会 vol.5」

2019年10月27日(日)14:00～ サントリーホール(ブルーローズ)

※2016年よりシリーズ開演。全6回にわたりソナタ全曲を演奏。第5弾。

日時 2019年10/18 1回 金曜日 14:00～16:00

受講料 会員 3,520円(入会金は5,500円。70歳以上は入会無料、証明書が必要です)
一般 4,180円

会場 ベーゼンドルファー東京ショールーム(東京・中野坂上)

13:50 現地集合。地図は裏面をご覧ください。

※入会金・受講料・教材費等は消費税10%を含む金額です。

※ご入会の優待制度をご利用の方は、お申し出ください。

※日程が変更されることがありますので、ご了承ください。

※講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。

※個人情報は、受講連絡、当社からのお知らせ、企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター
朝日JTB・交流文化塾

新宿

〒163-0210 東京都新宿区西新宿2-6-1
新宿住友ビル内私書箱22号
tel 03-3344-1945
<https://www.asahiculture.jp/shinjuku>

会場は「ベーゼンドルファー東京ショールーム」。13:50 現地集合です。

中野区本町 1-32-2 ハーモニースクエア内ハーモニータワー1F

※地下鉄丸ノ内線・大江戸線 中野坂上駅「1番出口」より地下通路直結。

<https://www.boesendorfer.com/ja/boesendorfer-tokyo>



Bösendorfer



ベーゼンドルファー東京ショールーム

* 地下通路から

1番出口を左手に見ながら直進、飲食店が並ぶ円形の広場を通り抜けると地下通路に繋がります。地下通路を直進し郵便局を通り過ぎた先、右奥に見えるエスカレーターで1階へ。左手にファミリーマートを見ながら突き当たり右側の自動扉へお入りください。数段の階段をあがって左手にショールームがごぞいます。

* 地上から

1番出口から地上へ。正面の横断歩道を交番方面にお降り下さい。ハーモニースクエアの左手入り口から直進、左手にファミリーマートを見ながら突き当たり右側の自動扉へお入りください。数段の階段を上がって左手にショールームがごぞいます。

<講師紹介>久元 祐子(ひさもと・ゆうこ) 東京芸術大学音楽学部(ピアノ専攻)を経て同大学大学院修士課程を修了。ウィーン放送交響楽団、ラトビア国立交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィル、東京フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、札幌交響楽団、神戸室内合奏団、ウィーン・サロン・オーケストラ、ベルリン弦楽四重奏団など、内外のオーケストラや合奏団と多数共演。知性と感性、繊細さとダイナミズムを兼ね備えたピアニストとして高い評価を受けている。音楽を多面的に捉えることを目指したレクチャー・リサイタルは朝日新聞・天声人語にも紹介される。

ブロードウッド(1820年製)、ベーゼンドルファー(1829年製)、プレイエル(1843年製)、エラール(1868年製)などのオリジナル楽器を所蔵。歴史的楽器を用いての演奏会や録音にも数多く取り組み、それぞれの時代の中で作曲家が求めた響きと美学を追及する。

2010年、ショパン生誕200年記念年には、全国各地でプレイエルを使つての演奏会に出演。軽井沢・大賀ホールにおいて天皇皇后両陛下ご臨席のもと御前演奏を行う。2011年ウィーンでのリサイタルは、オーストリアのピアノ専門誌の表紙を飾り、日本人で唯一ベーゼンドルファー・アーティストの称号を受ける。国立音楽大学創立90周年記念事業 楽器学資料館ピアノプロジェクトとして2013年に開催されたレクチャーコンサートで歴史的楽器5台を使用したコンサートに出演し、2014年には「黎明期のピアノ〜プレイエル、シャンツ、ブロードウッド」(サントリーホール・ブルーローズ)に出演。2012年、2014年、2017年イタリア国際モーツァルト音楽祭に度々招かれリサイタルを開催。その模様はイタリア全土に放映され好評を博す。これまでCD13作、著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)ほか多数。

国立音楽大学・大学院教授、ベーゼンドルファー・アーティスト、日本ラトビア音楽協会理事。

久元 祐子 ウェブサイト <http://www.yuko-hisamoto.jp>